

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳牧場
 所管課 農政部 畜産課
 指定管理者 公益財団法人山梨県子牛育成協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人山梨県子牛育成協会	○	H18.4.1	～	H23.3.31	5年	929,407,000
公益財団法人山梨県子牛育成協会 (H23.3.31まで財団法人)	○	H23.4.1	～	H28.3.31	5年	962,954,000
公益財団法人山梨県子牛育成協会	○	H28.4.1	～	R3.3.31	5年	976,117,000
公益財団法人山梨県子牛育成協会	○	R3.4.1	～	R7.3.31	4年	809,925,000

2 施設の概要

所在地	本場:北杜市小淵沢町大平10061 天女山分場:北杜市大泉町西井出8240-1
設置年月日	昭和43年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳牧場設置及び管理条例
設置目的	農家家畜を受託放牧するとともに、県有牛を改良増殖し繁殖牛・肥育素牛を供給し、もって本県の畜産振興に資することを目的とする。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)家畜の飼養管理及び改良増殖に関する業務 (4)牧草の栽培に関する業務 (5)家畜排せつ物のたい肥化に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 約583ha ○建物延面積6,202.67㎡ ○建物の構造 RC、鉄骨造 ○建物の概要 ・八ヶ岳牧場看視舎 RC 250㎡ ・避難舎 鉄骨造 918㎡ ・分娩・衛生舎棟 389.67㎡ ・畜舎 鉄骨造 772.8㎡ ・育成牛舎 鉄骨造 581㎡ ・家畜排せつ物処理施設 鉄骨造 1,811.2㎡ ・育成牛舎 鉄骨造 1,080㎡ ・飼料庫 400㎡ ・哺育・育成牛舎 鉄骨造 725.44㎡ ・堆肥処理施設 鉄骨造462.56㎡ ○その他施設 ・草地:331ha(採草地77ha、放牧地254ha)
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	・令和2年12月3日 哺育・育成牛舎の新設 725.44㎡ 工事費 134,999,700円 ・令和3年3月18日 堆肥処理施設の新設 462.56㎡ 工事費 73,958,500円

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	236,268,110	239,305,830	246,999,300	270,813,145	267,433,847	
支出合計	224,871,627	226,437,113	239,960,238	263,311,019	259,835,939	
収支差額	11,396,483	12,868,717	7,039,062	7,502,126	7,597,908	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	116,917頭	109,549頭	134,875頭	144,623頭	135,181頭	農家家畜の年間受託延べ頭数
	154頭	133頭	147頭	146頭	133頭	県有牛の供給頭数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和5年度)

農家の預託ニーズは高く、受託頭数は過去最多となった令和4年度には及ばなかったが、延13万5千頭余と目標頭数(12万頭)を大幅に上回った。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

飼料をはじめとする価格高騰が続く中、施設の収支状況は厳しい状況が続いている中で、目標頭数を大きく上回る農家家畜を受け入れ、畜産農家の経営負担軽減に大きく貢献している。また、県有牛の売却、堆肥販売においても、利用者の満足度は高く、大変評価できる。
引き続き、利用者の要望に応えながら、家畜受託、県有牛の生産、堆肥生産、人工授精等の技術向上に努めること。また、飼料価格の高騰が続いていることから、自給粗飼料の安定確保にも努めること。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

物価高騰が続く中、預託頭数の増加が当法人の経営を圧迫している状況にあるが、引き続き経費削減、自給粗飼料の安定確保に努める中で、県内畜産農家のニーズに応じていきたい。また、県有牛の生産や人工授精等の技術向上についてもより大きな成果が得られるように取組を進めていく。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳牧場
 所管課 農政部 畜産課
 指定管理者 公益財団法人山梨県子牛育成協会

1 利用状況

(単位:頭、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用頭数	受託頭数(延べ頭数)	116,917	109,549	134,875	144,623	135,181
	利用頭数合計	116,917	109,549	134,875	144,623	135,181
	目標値	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
	実績/目標割合	97.4%	91.3%	112.4%	120.5%	112.7%
	目標値の設定方法	過去5年間の平均受託頭数で設定				
利用率	稼働率等(利用率)	320.3頭	300.1頭	369.5頭	396.2頭	369.3頭
	稼働率等(利用率)の算定方法	延べ受託頭数/営業日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	

3 補修工事等の状況(令和5年度)

(単位:円)

管	堆肥舎柱取替工事	352,000
管	ポンプ室前配管工事	234,344
管	分場農機具庫屋根修繕 他61件	7,704,474

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和5年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 令和6年2月～3月 実施方法: 令和5年度の預託利用者および売却牛と堆肥の購入者へのアンケート(聞き取り・郵便) 回答数: 188名			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
家畜の受託に対する満足度	100.0%			
県有家畜の売却に対する満足度	88.9%	11.1%		
たい肥の売却に対する満足度	92.3%	6.5%	0.6%	0.6%
八ヶ岳牧場の事業に対する満足度	89.1%	10.9%		
施設全般の満足度	89.7%	10.3%		
利用者の主な意見	<p>【家畜の受託】 ・今、全国的にホルスタインの初妊牛の価格が高いので、牧場で種付けをしてもらってありがたい。 ・周年で預かってもらえるので助かっている。</p> <p>【県有家畜の売却】 ・共進会で八ヶ岳牧場産の出品牛が良い成績を収めた。 ・双子は肥育しても小さいものがある。</p> <p>【たい肥の売却】 ・安価で品質良好のたい肥を畑まで配達していただき感謝しています。 ・基本的に満足している。可能であればもう少し水分を抑えてほしい。</p>			
利用者の意見への対応	<p>【家畜の受託】 ・飼料費の高騰などにより入牧希望が増えていることを踏まえ、利用者のニーズに適切に対応していく。</p> <p>【県有家畜の売却】 ・血統や育種価を重視し県有牛の改良を進め、更に優良な子牛の生産に努めていく。家畜改良や飼料管理に関する情報提供や技術の共有を図り、県全域での管理技術の向上を図っていく。</p> <p>【たい肥の売却】 ・たい肥の切り返し回数を増やし水分の低下を図るなど、生産たい肥の品質向上に努める。今後も堆肥の利用者に対して販売促進に努めていく。</p>			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設、備品等の適切な保安全管理に努めてきた。車輛、農機具の更新を進めているが、経年劣化による故障が業務執行の妨げになっているので、引き続き計画的に更新していく必要がある。	施設棟の老朽化が進む中、適切な保安全管理を行っている。引き続き、定期的な点検等により適切な管理に努めること。老朽施設や備品の更新については、適宜検討していきたい。
運營業務	県内飼養戸数・頭数の減少傾向にある中、預託した家畜のほとんどが、人工授精または受精卵移植で受胎させてもらえることが評価され、利用者の多くはリピーターとなっている。ヨーネ病の再発防止に向け、県有牛全頭を対象とした年1回の定期検査や母牛の分娩前のPCR検査を実施し、保菌牛の早期発見、淘汰並びに牛舎消毒等の対策を徹底してきた。	受託頭数は目標を達成しており、受託家畜への人工授精等の受胎率も高く、利用農家の要望に応える運営は大変評価できる。
利用状況	売却頭数は、令和元年度にヨーネ病が確認されたことで減少し、令和4年度には146頭まで増加したが、令和5年度は前年度の自主淘汰や育成雌牛の保留頭数の増加の影響で、133頭にとどまった。農家等が保有する乳用牛、肉用牛の牧場利用頭数は過去最多となった令和4年度には及ばなかったが、過去2番目に多い頭数を確保した。	県有牛売却頭数は、前年を下回ったが、これは自主淘汰や計画によるものである。 預託利用頭数は目標頭数を大きく上回り、預託希望農家の要望に応えていることは評価できる。 引き続き衛生対策の徹底に努めるとともに、預託利用頭数の確保に努めること。
収支状況	農家が保有する乳用牛、肉用牛の受入れ頭数は目標を大幅に上回ったが、過去最多となった令和4年度には及ばなかったため、利用料収入は対前年度比で減少した。一方、支出については、飼料費、原材料費の価格高騰は継続したが、価格高騰分を県から追加委託料で補填することができ、その他の費用についても節減に努める中で、令和4年度と同等の収支差額を確保することができた。	飼料をはじめとする物価高騰の影響により、収支差額は昨年度と同程度となっている。 物価高騰が続く中、引き続き経費削減や自給飼料の安定確保に努め、収支常状況の改善に取り組むこと。
自主事業		
利用者満足度	ほとんどの項目において、「満足」「どちらかといえば満足」と回答しており、満足度は非常に高い。たい肥の購入手続きで、支払いが金融機関に限定されていることについて「不満」とする評価をいただいている。	利用者のほとんどから高い満足度が得られていることは高く評価できる。引き続き利用者満足度の維持向上に努めること。 堆肥購入手続きにおける課題は今後検討したい。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

8 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
家畜の改良 増殖に関する 業務	<p>受託家畜への人工授精又は受精卵移植による受胎率は、目標97.4%を超える98.2%であった。農家から預託された家畜のほとんどを受胎させることができおり、大変評価できる。</p>	<p>引き続き、人工授精並びに受精卵移植技術のさらなる向上に努め、利用農家の満足度向上を図ること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在

